

長野市公文書館便り



●発行日：平成26年(2014年)4月15日 ●発行：長野市公文書館

©NaganoCityArchives

オラが村の狛犬様を国宝に

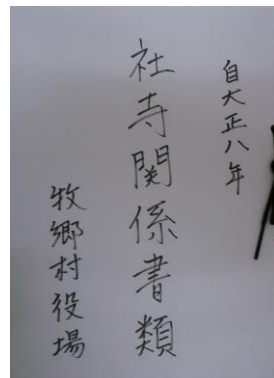
「国宝編入願 牧郷村竹房 武富佐神社」

『社寺関係書類』(昭和11年) 牧郷村役場文書

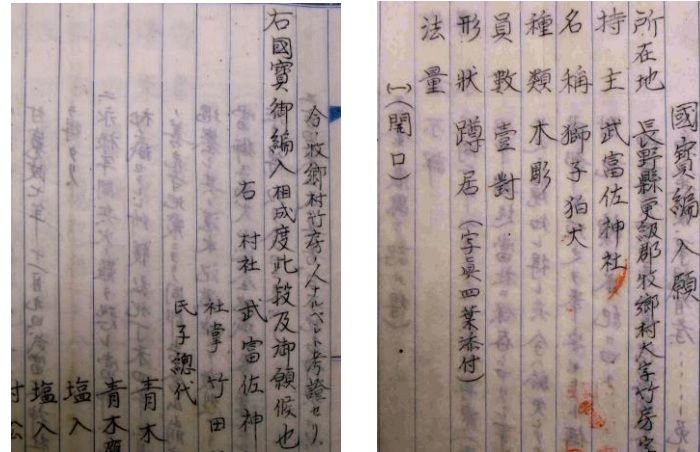
現在、長野市公文書館では旧信州新町役場に保存されていた明治から昭和にかけての公文書を収集・整理しています。そのうち日原村、牧郷村、信級村(いずれも旧村名)の公文書686点の整理が終わり、一般公開しましたが、今回はその中から牧郷村の社寺関係書類に収められた資料を紹介します。

この資料は、昭和11年(1936)7月8日付けで更級郡牧郷村役場が受付けたもので、差出人は大字竹房字大門の村社武富佐神社の社掌武田幹司ほか氏子総代です。社宝である「獅子狛犬」の国宝指定についての「国宝編入願」で、神社の所在地や文化財(獅子狛犬)の名称・大きさ・特徴・伝来などを克明に記し、最後に「右国宝御編入相成度此段及御願候也」と結んでいます。

この編入願によると、獅子狛犬は一對の木彫で、作者は不詳。大きさは2体とも高さ約50センチ、面長11センチ。胸幅や胸厚、鼻幅などが細かく計測されており、どちらも朱黒の彩色跡があると記録しています。その伝来によれば、武富佐神社は大同2年(807)7月に再建され、獅子狛犬は建部大垣によって奉安されました。建部大垣は竹房の人で、『続日本紀』神護景雲2年(768)5月の条にその名が現れます。延長5年(927)にまとめられた『延喜式』の式内神社だったといい、江戸時代の寛政7年(1795)に「武富佐神社」の社名奉願認可を得ています。獅子狛犬は戦国時代には兵火を恐れて内陣深く秘蔵され、弘化4年(1847)の善光寺地震に際しては山崩れや湛水の難を逃れるため安全地域に奉遷し、事なきを得て今日に至ったと記しています。



『社寺関係書類』(資料番号 牧郷村役場 大-28)



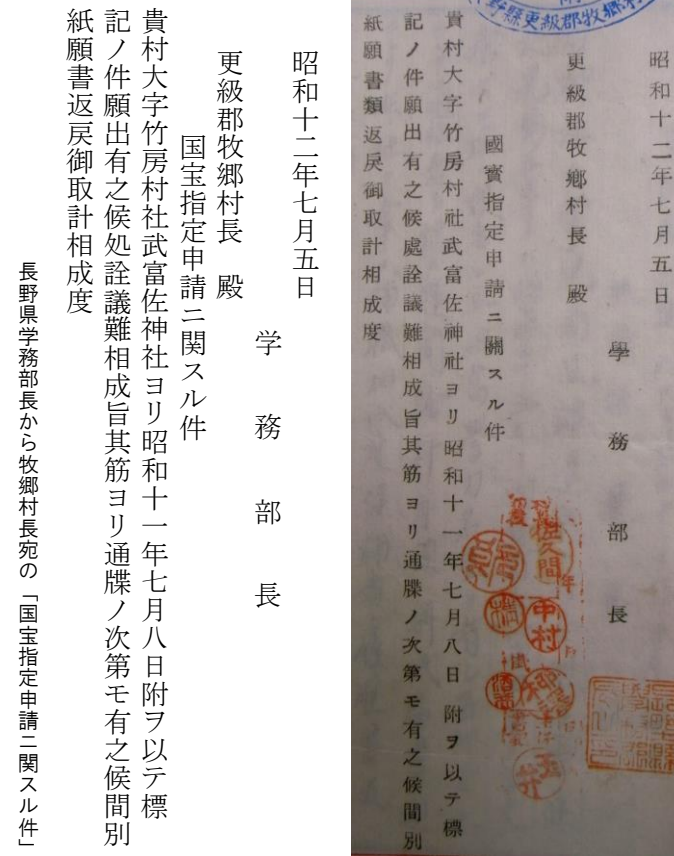
『社寺関係書類』の中に綴られていた「国宝編入願」。神社の所在地や獅子狛犬の名称・大きさなどが明記されている。

武富佐神社では、貴重な文化財であるとして、この獅子狛犬を国宝に認定してほしいと申請したのです。

昭和4年(1929)に「国宝保存法」が定められ、これによる申請でした。「国宝保存法」はそれまでの「古社寺保存法」(明治30年制定)と違い、国有・公有・私有を問わず幅広く文化財の保護を可能にするものでした。ちなみに「国宝保存法」で国宝に指定されたのは美術工芸品に限るとその数は約5800件で、それらは昭和25年制定の「文化財保護法」のもとで重要文化財となり、現在の国宝(平成25年9月現在871件)はその中から特に選定されたものが中心となっています。とはいえ、かつては確かに「国宝」であったため「国宝保存法」当時の国宝は「旧国宝」とも呼ばれているのです。

国宝に指定されれば国費補助なども得られたため、保存や修復に関わる費用の一部が賄えたでしょう。また地元の観光名所として喧伝することができたことは想像に難くありません。昭和の初年において各地でこうした申請が数多く出されたといわれます。

さて、その後この国宝申請はどうなったのでしょうか。ページをめくるうちに長野県学務部長から牧郷村長宛の書類が出てきました。日付は昭和12年7月5日(牧郷村の受取印は翌6日)。申請書類が提出されてからちょうど1年後です。短い文面ですので、全文を載せましょう。



県からの回答は、検討はしたが国宝指定には至らなかったもので願書は返却する、というものでした。「其筋より通牒」とは国からの回答だったのでしょうか。この間、武富佐神社や村はどんな運動をしたのか、県や国とどのような折衝があったのか、それとも「ダメ元」で出願だけしたものだったのか、前後に関連する書類がないので詳しくは分かりません。しかし、今でもオリンピック招致活動や世界遺産登録などのニュースを見れば、地元の人たちの熱の入れようや盛り上がりは想像できようというものです。平穏で静かなこの村に暮らす人々にとって「国宝申請」とはどのような出来事だったのでしょうか。

アーカイブズは過去の事実を正確に捉えることが最も重要な役割の一つですが、そこに記録された文字や内容から様々なイメージを広げて、歴史を味わうという楽しみ方もあります。この「オラが村の神社の狛犬様を国宝に」という記録から、当時の人々の息づかいが聞こえてくるようではありませんか。



旧後町小学校資料の調査・移管 2月26日

平成24年度をもって閉校となった旧後町小学校に保管されていた資料の調査が行われ、このほど移管しました。

長野市役所非現用文書の調査 3月7、11、12日

平成24年度末に保存年限が切れる長野市役所非現用文書の調査・一次選択が行われました。



旧後町小学校から移管された教育に関する資料の一部(上下とも)



長野市役所非現用文書の調査・一次選択の様子

新たに公開した資料です

- ・津和村役場文書 (旧役場文書 960点)
- ・檀田区有文書 (檀田村・檀田区関係文書 521点)

「市誌研究ながの」第21号 好評発売中

◆判型：A4版160頁
◆定価：1,400円(税込)

当館受付でお求めになれます。郵送をご希望の方は、代金を定額小為替又は現金書留で、送料(350円)分の切手を同封の上、当館までご送付ください。

長野市公文書館

所在地 長野市箱清水一丁目3-8 長野市城山分室内(〒380-0801)
電話 026-232-8050 FAX 026-232-8051
HP http://www.city.nagano.nagano.jp/naganoarchives/
又は **長野市公文書館** で検索

開館時間 午前9時~午後5時(閲覧申込みは午後4時30分まで)
休館日 土曜日・国民の祝日に関する法律に規定する休日・年末年始(12月29日~1月3日)

こんなときにはご相談ください。

- ・古い土蔵などを取り壊すので、所蔵資料を寄贈・寄託したい。
- ・所蔵資料の保存・活用を図り、後世に伝えたい。